

# アンゴラ共和国月報

2015年5月号  
在アンゴラ日本国大使館

主な出来事

【内政】

●民間投資法改正案の閣議通過(15日)

【外交】

●駐アンゴラ日本大使、副大統領及び国会議長と会談(5日)

●ICGLR 臨時首脳会合にてブルンジ選挙に関する「ルアンダ声明」を發出(18日)

【経済】

●ガソリン補助金の撤廃及び燃料価格の引上げ(4月30日)

●中銀、クワンザ安を容認(28日)

**内政**

## 1 民間投資法改正案の閣議通過

15日、民間投資法の改正案が閣議にて可決された。同法案の主な内容は以下のとおり。なお、同法案は今後国会に提出される見込み。

(1) 1,000万米ドル以上の民間投資案件の申請・審議・承認については、案件の監督省庁あるいは大統領がその責務を負う。これにより、投資家が事業登録を行う際にいくつもの行政機関に届け出る煩雑さが軽減される。

(2) 民間投資庁(ANIP)は、国内外からの民間投資を振興する機関としての役割を維持する(JA 5/16)。

## 2 出入国審査、自動化ゲートの開設

8日、ダ・コスタ大統領府文官長出席の下、ルアンダ国際空港の出入国審査の自動化ゲートの開設記念式典が行われた。タヴァレス内務大臣によれば、「Passa Fácil」と命名された同ゲートは公用・外交旅券を有するアンゴラ人及びアンゴラとの査証免除協定を有する国の国民が利用でき、約12秒で出入国審査を終えることができる(JA 5/10)。

## 3 ルアンダ市内の道路改修工事

ドミンゴス・ルアンダ州知事は MotaEngil 社

とルアンダ市内の道路改修工事契約に署名した。同知事によれば、本契約において市内16の大通りが今後6ヶ月以内に改修され、コストは7,800万ドルかかる(JA 5/15)。

## 4 ヌンダ氏、アンゴラ軍大將に就任

28日、ドス・サントス大統領は国家安全保障委員会の助言に基づき、ジェラルド・サシペンゴ・ヌンダ(Geraldo Sachiengo Nunda)氏をアンゴラ軍(FAA: Forças Armadas Angolanas)大將に任命した。この他、大統領令により軍幹部の人事が一新された(JA 5/29)。

**外交**

## 1 駐アンゴラ日本大使の閣僚表敬

### (1) ヴィセンテ副大統領との会談

5日、伊藤駐アンゴラ日本大使はヴィセンテ副大統領と会談後、記者のインタビューに応じ、以下のとおり述べた。

**ア** 日本企業はアンゴラ市場への投資及びアンゴラの産業多角化プロセスに関心を寄せている。産業多角化は、最先端技術を駆使し、様々な分野の人材育成に投資する日本企業の強みである。日本企業はアンゴラの実現に貢献することに高い関心を示しており、具体的な投資や事業計画を有している。

イ アンゴラと日本の二国間関係はまだ緊密なものとは言えないが、両国間関係をより一層緊密化させるための余地が大いにある(JA 5/5)。

#### (2) ディアス・ドス・サントス国会議長との会談

5日、駐アンゴラ日本大使はディアス・ドス・サントス国会議長と会談後、記者のインタビューに応じ、以下のとおり述べた。

ア 来年の日アンゴラ外交関係樹立40周年記念におけるアンゴラ政府高官の訪日等、記念行事の実現に向けて国会議長と話し合った。

イ 3月に開催された日アンゴラ・ビジネスフォーラムに日本企業37社・120名の日本人が参加する等、両国間関係は良好である。間もなく二国間関係の進展に関する具体的な成果が出るだろう(JA 5/5)。

## 2 大湖地域国際会議臨時首脳会合

18日、ルアンダにて大湖地域国際会議(ICGLR)臨時首脳会合が開催された。

### (1) ブルンジ関連

ICGLR 各国首脳はブルンジで発生したクーデター未遂を非難し、公正で透明性のある選挙に全ての関係者が参加できるよう、ブルンジ政府に選挙の延期を要請した。同各国首脳は「ルアンダ声明」を発出し、ブルンジ選挙に関わる全ての当事者に対して、暴力行為を止め、対話と和解に乗り出すよう勧告した。同各国首脳は現状の評価及び事態の平和的解決を図るため、ブルンジエラに代表団を早急に派遣する。同代表団は南ア、ケニア、ウガンダ及びタンザニアの首脳により構成される。

(2) 同各国首脳はコンゴ(民)東部、中央アフリカ及び南スーダンの情勢についても分析し、中央アフリカの現状を議論するためのECCAS との合同首脳会議、26日にブリュッセルで開かれる中央アフリカに関する国際会

議への参加、コンゴ(民)政府と国連間の戦略的対話等について話し合った。

### 3 エクアドル外務大臣の来訪

(1) 20日、当地訪問中のアロカ・エクアドル外務大臣はドス・サントス大統領と会談した。同会談において同外務大臣は、2016年にエクアドルの首都キトで開催される「アフリカ・南アメリカ首脳会合」へのコレア・エクアドル大統領名の招待状をドス・サントス大統領へ手交した。一方、ドス・サントス大統領はエクアドルに対し、本年10月にルアンダで開催される「ギニア湾の安全保障に関する国際会議」への参加を要請した。

(2) アロカ外務大臣はアンゴラ滞在中、二国間の全般的な協力協定、二国間政策協議メカニズム設立のための覚書及び外交・公用旅券の相互査証免除協定に署名した(JA 5/21)。

### 4 ヴィセンテ副大統領のキューバ訪問

(1) 17~20日、ヴィセンテ副大統領はヴァン・ドゥーネン保健大臣、シマン教育大臣及びナシメント教育大臣とともにキューバを訪問した。

(2) 18日、ヴィセンテ副大統領はディアスカネル・キューバ国家評議会第一副議長と会談し、二国間協力関係を総括した(AP 5/18)。

### 5 ヴィセンテ副大統領、ナイジェリア大統領就任式に出席

29日、ヴィセンテ副大統領はドス・サントス大統領の代理としてブハリ・ナイジェリア大統領就任式に出席した(JA 5/30)。

### 6 中国・アンゴラ二国間委員会の開催

(1) 26~29日、北京にて中国アンゴラ二国間委員会が開催された。同委員会にはブラガンサ外務副大臣、ガブリエル工業副大臣及びモンテイロ経済副大臣が参加した。

(2) ブラガンサ副大臣は、アンゴラは中国との財政面での協力に関心があり、同関心に

基づき中国側に覚書案を提出したこと、また、投資保護促進協定及び査証取得の簡素化についても交渉中である旨述べた。

(3) ガブリエル副大臣はアンゴラは中国から投資を呼び込むための環境整備をしており、一方、中国側は製鉄、セメント、自動車及び板ガラス等の生産に係る投資に関心を示している旨述べた(JA 5/29)。

## 経済

### 1 主要経済指標

#### (1) 物価

国家統計院(INE)が5月に発表した4月期におけるルアンダ州のインフレ率は8.23%。月間物価上昇率は0.85%。最も高い伸び率を記録したのは「財・サービス」で1.69%の上昇。続いて「交通費」(1.21%)、「ホテル・飲食店」(1.11%)、「衣料・履き物」(1.06%)となった。

#### (2) 金利

5月29日に開催された第44回金融政策委員会(CPM)は、政策金利のBNA基礎利率(Taxa BNA)を年率9.25%に据え置くことを決定。銀行間取引利率LUIBORのオーバーナイト物は6.25%(前月比0.04%p)に引上げ。

#### (3) 為替市場

5月末、為替相場はUSD1=110.868AKZで推移(対前月比1.018AKZ安)。

### 2 ガソリン補助金の撤廃

(1) 政府は、4月30日付けの法令で燃料に対する補助金を引き下げ、ガソリン補助金については今般をもって撤廃となった。その他軽油等の燃料に対する補助金は継続される。各燃料の価格引上げについては以下のとおり(JA 5/2)。

ア ガソリン	90KZ/L → 115KZ/L
イ 軽油	60KZ/L → 75 KZ/L
ウ ケロシン	35 KZ/L → 45 KZ/L
エ LPガス	45KZ/kg → 55 KZ/kg

(2)財務省の試算によれば、今般の燃料補

助金削減により、今年と同補助金は約2,420億 KZ(対 GDP 比約2.1%相当)を計上し、約1,320億 KZ(約12億ドル)の歳出削減が見込まれる(JA 5/16)。

### 3 石油・鉱物資源

#### (1) 第1四半期産油量は176万バレル/日

石油省の発表によると、第1四半期の産油量は約1億5,890万バレルで、日量平均は約176万バレル/日を記録。修正国家予算で想定している183万バレル/日を下回っている(JA 5/15)。

#### (2) 石油製品、国内消費の40%相当を輸入

葡 Lusa 通信社によると、今年第1四半期に国内で289万3,250トンの石油関連製品が販売され、そのうち約40%に当たる117万5,300トンを入力に頼っている(うち72%が軽油)。同期、ルアンダ精油所で精製された燃料は57万4,400トン。同精油所の2倍の生産能力が見込まれるロビト精油所の建設は2012年に着工し、2017年の操業開始が見込まれている(RA 5/13)。

#### (3) カオンボ計画で採掘開始

28日、Total 社がオペレーターとなっている第32鉱区のカオンボ・プロジェクトで8万4,000トン以上の原油が採掘された(JA 5/29)。

### 4 貿易・投資

#### アンゴラ、対アフリカ投資を牽引

Financial Times 紙によると、2014年の対アフリカ直接投資のうち、対アンゴラ投資は約1,600万ドルを計上し、約1,800万ドルの対エジプト投資に次ぐ第2位となった。2013年の第4位から2ランク上昇(JA 5/25)。

### 5 金融・銀行

#### (1) 政府、公債を120億ドル発行

7日に開催された「第1回・公債への投資に関するフォーラム」で、アントニオ・フルタード・アンゴラ証券取引所(BODIVA)社長は、政府が財政赤字の補填を目的とし、今年一年間で

約120億ドルの公債を発行する旨公表した。また、同社長は、アンゴラには透明性をもって機能するセカンダリーマーケットが求められる旨述べた(JA 5/8)。

## (2) 中銀、外貨売りを制限

モライス BNA 総裁は、「第1回公債への投資に関するフォーラム」において、昨今の原油安に鑑み、石油収入が回復するまでの間、外貨オークションの量を制限する旨公表した。また、現在の外貨準備高は6ヶ月分の輸入代金に相当する旨述べた(JA 5/11)。

## (3) 中銀によるクワンザ安の容認

28日に開催された実体経済委員会と閣僚級経済委員会の合同会合で、モライス BNA 総裁は、外貨売りの減少による海外送金の遅延など、為替市場への圧力を軽減すべく市場介入を強化する旨述べた。また、同総裁は、昨今のクワンザ安が物価に与える影響は甚大であるとしながらも、ある程度のクワンザ安容認によって物価がインパクトを受けるのは不可避であると述べた(JA 5/29)。

## 6 製造業

### (1) Biocom 社、6月に砂糖生産開始

26日、シルヴァ工業大臣は、マランジェ州カクーゾ市に所在する Biocom 社の工場を視察訪問し、同社が精糖、電力及びエタノールの生産を6月16日に開始する旨公表した。発電能力は230GWの見込み(JA 5/27)。

### (2) カンバンベ工業団地の計画

26日のクワンザ・ノルテ州カンバンベ市の発表によると、同市は市内に工業団地の建設を計画している。敷地面積は2,560ha(JA 5/27)。

## 7 建設業

### アンゴラ、建設業でサブサハラをリード

Deloitte 社の調査によると、昨年、アンゴラにおける巨大建設プロジェクトの数は2013年の124件から119件に減少したものの、サブサハラ・アフリカ諸国の中では最多を維持してい

る。第2位の南アはアンゴラの約半分、モザンビークは13件となった(JA 5/11)。

## 8 通信・電力・輸送インフラ

### (1) 携帯電話利用者数1400万人

7日の通信・情報技術省の発表によれば、アンゴラの携帯電話利用者数は約1,400万人に上る(対前年比100万人増)。また、固定電話の利用者数は約30万人、インターネット利用者数は約400万人(JA 5/8)。

### (2) TV Cabo によるブロードバンド事業

欧州投資銀行(EBI)は、TV Cabo 社に対し、インターネット回線拡張事業費用として約2,000万ユーロの融資を行う旨発表した。ルアンダ市、ベンゲラ市、ロビト市にブロードバンド回線が、また、ルバンゴ市、ウアンボ市、カビンダ市、ソヨ市に光ファイバー回線が設置される見込み(EX 5/13)。

### (3) 国際通信見本市の開催

14~17日、ルアンダで国際通信見本市2015(EXPO TIC'S 2015)が開催された。「産業多角化におけるIT通信部門の課題」と題し、同部門に係る展示及び講演会が実施された。セヴェリーノ・アンゴラ工業連盟(AIA)会頭は、アンゴラが参入しようとしている外国市場には厳しい競争が存在し、世界における同部門の構造変化に対応するためにも最新技術を適用していく必要がある旨指摘した(5/17 JA)。17日の式典では、Unitel 社が光ファイバー拡張事業に約5億ドルを投資する旨発表し、Huawei(華為技術)社が最優秀企業賞を受賞した(JA 5/19)。

### (4) 政府、ルアンダの電力不足につき説明

21日、ボルジェス電力・水大臣がジョルナル・デ・アンゴラ紙の取材に応じたところ、この2ヶ月間のルアンダ市内における慢性的な停電の原因につき、カパンダ水力発電所における発電能力が約100MW(発電能力の15%に相当)低下している上、季節的な気温上昇に伴ってエアコン等の電力消費が増加している

ことによると述べた。ただし、乾期の気温低下により消費電力の低下が見込まれるため電力不足が回避される見通しである旨付け加えた(JA 5/22)。

#### **(5) 機関車車両購入案件に係るGE社の懸念表明**

22日、GE Transportation 社 Russel Stokes 社長は、米国議会が米輸出入銀行の存続を認めなかった場合、GE グループは同行の融資を通じた計100輛のディーゼル機関車車両(C30ACi 型)の対アンゴラ輸出に係る約3億

5,000万ドルのビジネスを喪失することになるとの懸念を表明した(JA 5/23)。

#### **(6) 新空港＝ルアンダ港間の道路交通網整備**

トマス運輸大臣は、28日に開催された閣僚級経済委員会及び実体経済委員会合同会合において、デオリンダ・ロドリゲス通りに沿って南北に並行し、ルアンダ新空港とルアンダ港を結ぶ道路の整備計画につき公表した(JA 5/30)。

---

JA: Jornal de Angola, AP: Angop, EX: Expansão, AH: Angola Hub, BB: Bloomberg, OP: O País, SE: Semanário Económico, AN: Angola Notícia, RNA: Rádio Nacional de Angola, Sol: Sol Angola, EF: Economia & Finanças, RA: Rede Angola.